

## 令和3年度 第8回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日時】 令和3年11月26日(金) 18:00~19:10

【場所】 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

【出席者】 12人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教門	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	
副会長	東 幸子	○	委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	石田 靖子	○	委員	今 光江		委員	村本 龍一	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	森田 瞳	○
委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	○	委員	八木沼 英晃	

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企画経済部 ~中西次長

厚田支所 ~東支所長、吉田根副課長、新田生遊課長

地域おこし協力隊 ~飯塚隊員・奥本隊員

事務局(地域振興課) ~高田課長・永塚主幹・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 1名

- 【次第】
1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 情報交換会(リラックスタイム)
  4. 協議事項
    - 第9期厚田区地域協議会の運営について
  5. 報告事項
    - (1) 集落支援員制度検討委員会の進捗状況について
    - (2) 厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会の検討状況について
    - (3) その他
  6. その他
  7. 閉会

## 1. 開会

### 【（厚）地域振興課 高田課長】

開会の前に、本日、八木沼委員、平賀委員、今委員の3人から欠席という連絡を受けておりますのでご報告させていただきます。

それでは、令和3年度第8回地域協議会を開会いたします。会長ご挨拶お願いいたします。

## 2. 会長挨拶

### 【渡邊会長】

皆さんこんばんは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。もう11月も後半ということで、すっかり雪景色で、厚田クリニックの前にもイルミネーションが点灯し本当に素晴らしいと思っております。

最近ちょっと気になったのが、流行語にノミネートされました親ガチャ。要するに子どもは親を選べない、当たり外れがあるということですが、今の時代、貧困とか虐待、ネグレクトということで、子ども達がすごく悩んでいるのを耳にします。社会や地域で何かフォロー出来るんじゃないか、せめて厚田区は、地域ガチャで外れとならないように、厚田区はガチャで当たりだと子ども達が思えるようなまちにしていかなければと考えています。ではリラックスタイムに入りたいと思います。

## 3. 情報交換会(リラックスタイム)

### 【渡邊会長】

今回からリラックスタイムのスタイルを変え、皆さんから自主的に話していただきたいと思います。またそうやって発言することで、次の協議で遠慮せず発言出来るのではと思います。今回は厚田学園の「あつたび」に関わった委員が多いということで、「あつたび」をテーマに皆さんから、どんどん話していただきたいと思います。

### 【小山委員】

私は立浪さんのニシン漬け作りと夕日鑑賞の際に甘酒を提供しました。最後、道の駅でお別れのとき、9年生3人がバスの中で最後の挨拶をして涙ながらに降りて来た時、親心じゃないですが思わずもらい泣きました。

### 【角野委員】

当日、嘘みたいなすごい秋晴れでした。私の農場には卵収穫体験ということで来てくれました。予定してたよりスムーズに進んで少し時間に余裕があったので何組かに分けて鶏舎に案内して質問コーナーという形で対応しました。生徒さんも頼もしい限りで、お客さんを案内してくれて、すごいな、楽しいなって、私自身思ったのがすごく記憶に残っています。

### 【森田委員】

私もニシン漬け体験のお手伝いをしました。9年生の3人が札幌大球の説明をしましたが聞いてるだけで楽しくなるような説明で感心しました。また色んなところに目を配ってお客さんをケアしたり、しっかりしている9年生だと思って見ていました。お客さんもすごく楽しそうにされていて、また厚田に遊びに来てくれたらと思いました。

### 【丸山委員】

厚田の皆さんのご協力で、子どもたちは素晴らしい体験が出来たと思います。厚田学園では、厚田学として、厚田を愛する子どもの育成を一つの柱にしています。厚田への貢献、活性化までということで、欲張りなんですけど考えています。今回、本当に沢山の地域の方々に支えてもらい、子ども達の良いところも引き出してもらいま

した。子ども達にとって非常に大きな財産になったと思います。アンケートの中でも色々素晴らしいことを結構書いてくれていて、中には今まで40回以上の海外旅行、数十回の国内旅行をしてきたけど今回ほど心に響く旅は久々でした等の感想をいただきました。

また笹谷さんのお力をお借りしてホームさんで子ども達が考えた新商品の開発、チャンチャン焼きピザとグラタンピザ、どんなものになるか分かりませんが4月に売り出していただけるということで、これも地域貢献かなと思っています。まだまだ厚田のために頑張りますのでよろしくお願いします。

#### 【 渡邊会長 】

はい。「あつたび」は大成功に終わったということでリラックスタイムはこの辺にします。

#### 4. 協議事項

##### 第9期厚田区地域協議会の運営について

#### 【 渡邊会長 】

第9期の厚田区地域協議会の協議テーマをみんなで考えたいと思います。厚田のここをもっとこうしたら良いのにと、地域ガチャの話ではないですけど、みんなに愛される厚田、住んでいる方がもっと好きになるような厚田のイメージとはどういうものかをみんなで考えたい。これまでも協議会の中では色んな下部組織の中で、それぞれ話し合われて来ました。例えばあつたライフサポートの会は、きっかけは多分、色んな地域事情の困りごとを集めた中で、車が無い、バス路線まで出てくるのも大変という意見から議論が進められ、ライフサポートの会立ち上げにつながったと思います。この地域を良くするためにもっとこうしたら良いんじゃないか、じゃどうしたら出来るのか、そういう協議の中で積み重ねられた成果だろうと思います。

第9期のテーマは、今日、今回、次回とかで決定するのではなく、みんなでどんどん意見を出し合いながら進めていければ良いなと思っていますが皆さんどうでしょうか。

#### 【 東副会長 】

私も地域協議会委員になってくださって言われたとき、私が入ったとして何をすれば良いのかというのを最初思いました。今もその道の探り途中なんですけど、元々、地域について協議するという原点に立ち返り、やっぱり厚田をより良くしていくみたいな気持ちをまず持って、何か、僕たち私達の厚田はこうあったら良いな、そのためにこういうことをしなければいけないんじゃないか、こういう団体が必要なんじゃないか、そんなことを協議出来れば良いのでは。その夢の先に例えば、全て解決できる訳ではないかもしれませんが、ここがこういうふうになっただとかあると思います。協議会に参加する時に、こうだから、ああいうサービスがあったら良いとか、皆さんで持ちよって、何か気軽にその案が出せるような会議になったら良いなと思います。

#### 【 渡邊会長 】

今までも色んな課題を各下部組織で議論して、例えば、厚田資料室については資料室を綺麗にして、厚田の偉人4人をメインに、地域づくり基金を活用してリニューアルして、結構人も集まるようになった。それで資料室が何とかなったけど、厚田は食べる場所あまりないという意見から、それを資料室と合わせた形で、複合施設が出来たら良いのではという、その当時副会長だった吉田一男さんのご意見でしたが、そういう話から、じゃどこにあったら良いとか議論しながら色々やっているうちに、なんと道の駅になってしまった。それも重点道の駅。やはり、みんなでこうなったら良いなっていう意見を出し合っているうちに良い方向に進めばと思います。

今日は初回ですから委員の皆さんに聞いても良いですね。こうなったら良いとか自由に話していただければと思いますので、加藤委員から順にお願いします。

### 【加藤委員】

住んでいる人目線と遊びに来る人目線があると思います。ここに来てすごく感じたのが、すごい美味しいものが沢山ある。野菜もあるし米もあるし卵もあってお肉もあって魚もあって。これだけ揃っているけど、じゃどこで買ったら良いのか分からない、買ってどうしたら良いか分からない、いつ買いに行けば良いか分からないという、マーケティングというか、外向けのお知らせがちょっと不十分な部分ではないかと感じました。札幌の友達に話しても、厚田は知ってるけど、魚売ってるよね、ぐらいの感じであまり知られていない部分が多い。望来豚、美味しい卵、野菜も一杯あるよって送ってあげたりして、食べるとすごい美味しいからまた送ってほしい、行きたいとか言われて。リピーターは私の周りでは沢山いるんですが、リピーターを得るまでの最初のファーストタッチにもっと工夫が必要だと。素材は十分揃っているのでもっと注目を浴びることが出来るんじゃないかと思いました。住んでいるから、ご近所の人とか地域の方から、ニシン獲れ始めたよとか聞いて、じゃ買えるかなって思うんですけど多分学校に行っていなかったら私も分からない情報が一杯あって、この地域の中にも買えない、買い方が分からないものが実は一杯あると思っています。

### 【森田委員】

この協議会は意見をいうのはハードルが高いという訳ではありませんが、中々言いづらいところがあって、自分が色んなところに行って情報収集していないなと思ったり、イベントも自分で企画すれば良いのにやってないとか、何かしていないのではと思うことがあり、正直なところそれなのに意見を言っても良いのかという気持ちがあります。今回の厚田学園の「あつたび」も、自分で出来る範囲でお手伝いさせてもらいましたが、何か自分の中でも改善したいとは常々思っています。

### 【笹谷委員】

私自身、集落支援員の検討委員会に所属していて、来年はいよいよその制度の始めの年になるので、しっかり持っていくことが重点だと思っています。地域がこうなれば良いなというのは日々の日常生活の中で言ってますが、こういう場になったら絶対忘れてるということがあるので、今後そういうのを意識してメモを取るなりスマホに書くなりして、ちゃんと精査してこういう場で提案出来ればと思います。

### 【村本委員】

今期から参加させてもらうことになりました。ずっと厚田に住んでいますが、中々こういうことを考えたことがなくて、あたり前のように住んでいました。春夏秋は多くの人に来る催しだったり、有名なものがあつたりしますが、基本冬は何もないし、ここ毎年吹雪がすごくて道通行止めになったり。結局、もし住んでなければ来るのが億劫のような感覚になってるので、何か冬もイベントがあれば良いと思いました。これから過ごす中で、良いなと思うことを少しずつ考えていきたいと思っています。

### 【角野委員】

僕、移住して5年目になるんですが、やっぱり仲間がずっと欲しいなと思っています。自分が子育てしながら仕事も楽しんでますが、実際はもう嵐のように日々が過ぎ去っています。外から見たら、ここの農場すごい楽しそうだなって思えるように心がけているんですけど、5年経って仲間はまだ誰1人いないっていう感じです。資料にも色々ありますが、人数は減っていく一方で、子どもの数も知れてるし、もうそうだと本当に外から来てもらわないと元も子もないと思うので、自分なりに悩みながら、仕事を楽しみ、育児を楽しみ、生活を楽しむようにずっと心掛けています。きっと厚田にもそういう方が沢山いるはずなんですけど。何か厚田で本当にチーム組んで、何でも良いんですよ、SNSでも何でも。ここに住めばこういう楽しいこと沢山あるよっていうのを軸に発信出来ればなと思います。自分もSNSとか色々やってるんですが僕一人ではもう歯が立ちません。本

当にこういう生活を知ってもらいたいので、泊まりとかも受け入れやっってるんですけど、そういうのを、厚田の色んな方が何かやってくれば、ちょっとずつ厚田が広まっていくんじゃないか、そう思っています。

#### 【 小山委員 】

委員になりまして結構経ちますが、やはりこういう場というのは中々意見が言えないというのがありまして緊張してしまいます。ただ、まちの色んなこと、これから何があるとかこういうものが建ったとか、情報収集は出来るかなと思っています。それでご近所の人にちょっと教えてあげるとか、そういうことが出来るのかなと思っています。私は一応商工会代表で出ていますが、やっぱり石狩市の会議に行っても商店街も中々思うように復活出来ない、高齢化ということもあります。

やはり情報としては外向けのものが多くて、厚田区の人たちが集えるような情報がこまめにあれば、まだまだ参加する方も、興味ある方もいるのではと思います。

9期の取り組みですが、前期の取り組みを同じように引き継いで、9期で起こったことを少し追加するとか、これまでの活動はそのまま取り組んで、結果が見えても、その先をまた新たに見つけてくってという方法の方が良いのではと思います。私もだんだん高齢になって来ましたから、表に立って仕事は出来ませんが、体が続く限り協力という形で何とか頑張れるかなと思っています。

#### 【 鎌田委員 】

私も立派な高齢者です。先ほど笹谷委員がちょっと触れましたが、来年4月に向けて集落支援員制度が導入されます。後でまた進捗状況の報告がありますが、住民同士が支え合うまち、すなわち、ここに書いているとおり「カンパニー構想」の実現のために、やはり集落支援員制度に自分は何となく期待しています。これからさらに住民アンケートにあった色々な課題を絞って、支援員が出来たときに、色々またみんなで協力しながら、一つ一つ、少しでも高齢者が住みよいまち作りが出来たらと思っています。

#### 【 大内委員 】

今思うのは自分の親も高齢者なので、ライフサポートや交通、厚田学園が立派なのが出来たのでどうやったら子どもが増えるのかとか、そういうことは常々と思っています。公の場で喋るのは苦手なので、陰で一生懸命頑張ります。

#### 【 石田委員 】

今期から参加させていただきました。子ども教室に勤務していて、仕事柄子どもの遊ぶ場所、それがあまりないという感じはしています。年々子ども教室に来る子も減っていて、もっと気軽に来ることが出来れば。聚富虹が原だと、トーメン団地はそこにしか来る場所がないので、近所の子ども達は来ていますが、遠方の子どもは沢山いるのに車でないと来れない。もっと近所に行ける場所があれば、子ども達の選択の場も増えて良いのではないかなと思っています。

あと、沢山の厚田の良いところを色々広げたら良いかなと思います。私は高校時代に少しだけ札幌に住みましたが、やっぱり厚田の方が良いかなと思って地元に戻って来ました。環境が良いというか、向こうの地域は音とか気になってしまって。地元は安心する、良いなということで。

#### 【 渡邊会長 】

皆さんご意見ありがとうございます。次回までに事務局がまとめてくれると思います。そしてそこから方向性が導かれて行くような気がいたします。虹が原と厚田では20kmぐらいあるけれど、虹が原の子ども達ももっと厚田に来る機会やそういう仕組みが出来たら良いとか、それでもっと交流が上手くいく、せっかくのコミュニティ

スクール厚田学園、どうしてもっと子ども達を増やせるのか、そのためにやはり家族で移住してもらわなきゃいけない。そのために何をしたら良いのかというと、家がなきゃ駄目だよ、仕事じゃなきゃ駄目だよ、家だって古い家に住みたい人なんか今いないから、それだったら例えば素敵なログハウスを4、5軒建てて貸し出す、そして移住してもらおうとか。若干夢物語になるかもしれませんが、本当にみんなでそういうこと、加藤委員の言ったマーケティングもそうだけど、魚1匹いらんよ、切り身でほしいっていう人もいるだろうし、一人の方で、かぼちゃ1個もらったけど、こんなにどうしようという方もいるかもしれない。そういうもっと身近な、みんなが暮らしやすいと思える部分をね。メインは近説遠来ということで、遠くの人が厚田に来て楽しんでいただく、これも大事。そしてここに住んで厚田の人が、実際に楽しく、幸せに暮らす、これも大事。両方行うっていうのが厚田区の目標ですから、もっと夢というか出来る出来ないは後でも良いと思うので、もっとこうしたいとか、こうなったら良いよ、夏場は、週に1回2回は子ども達を、厚田に連れて来て海浜プールとか、道の駅とかで遊ばせたいよ、っていう思いとか。自分の関わっている部分しか分からないかもしれませんが、それでもこうなったら良いな、あんなだったら良いなという夢は見ていきたいなと思っています。

#### 【東副会長】

今日、突然こういうお話を皆さんに振って考えがまとまらなかった纏まらなかった方もいると思うんですが、笹谷委員も言われたように、何かこうだったら良いのにとっても、いざ会に来ると言えない、忘れてしまう、そういうこともあると思います。だからちょっとだけ本当に心のメモを、スマホのメモでもリアルのメモでも良いので記録してもらって、次回からでも言っていたら良いなと思います。せっかく集まっているので本当に良い会議にしていけたらと思います。

#### 【渡邊会長】

皆さんも意識をちょっと持っていて日頃の生活の中で、こうなったら良いよ、ねっていうのをどんどん出していただくと、これからの方向性というか、出来ることが沢山出て来るんじゃないかなと思いますし、それに特化した組織、笹谷委員も言っていた集落支援員が中心となって動けることも沢山出て来ると思います。例えば前に東副会長が言っていたけれど、地域おこし協力隊が来たとき、誰に聞けば良いの、誰が色んなことを教えてくれるのというのは、役所の中では役所の方たちが堅い話をするのかもしれないけど、要はもっと身近な中で、地域の中というのであれば集落支援員が窓口になって色んなところへ連れて行って、色んな面を教えるというのは素晴らしいなと僕も思いました。

今日は初回なので、この辺で協議の方は終わらせていただきますが、また皆さんに色々なお話を聞かせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

またリラックスタイムの方も、今回こういう形で面白かったので、次回も皆さんから積極的に話していただければと思います。皆さんスマホで何か撮ってみんなで見るというのも面白いと思うので、そういうのも取り入れながら工夫して進めていきたいと思っています。

### 5. 報告事項

#### (1) 集落支援員制度検討委員会の進捗状況について

##### 【(厚) 地域振興課 寺尾主査】

～資料無し

集落支援制度検討委員会の進捗状況になります。これまで検討委員会の状況の中々報告出来なくて恐縮だったんですが、今年度はこれまでに3回の協議を行っております。その中で厚田区内全域を活動範囲として1名体制からスタートすることや業務のボリューム等に応じて人員体制を業務の内容をその都度見直すこと、厚田の暮らしを支援するという意味合いで集落支援員の愛称を「あつたクラシエン」、厚田はひらがな、くらしえんがカタ

カナになりますが、こういった愛称にすることを協議、確認して参りました。現在は来年4月の制度導入、設置に向けて1名分の予算要求をしているところです。今後の検討委員会ですが、集落支援のための活動マニュアル作りを主な議題としまして協議を継続します。また2月に厚田区内の回覧等で支援員を募集し、3月早々に面接を行い決定する運びになるかと思えます。その他、地域の皆様には集落支援員の導入と制度について回覧で周知を図って参ります。私からは以上です。

## (2) 厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会の検討状況について

### 【(厚) 地域振興課 寺尾主査】

～資料無し

厚田区地域おこし協力隊活用検討委員会の検討状況になります。4月の地域協議会の中で任期終了前に退任した協力隊に代わる方を募集する、追加募集する前に改めて協力隊の活動内容や募集方法などを検証する必要があるのではないかというご意見をいただき、その後、早速検討委員会を立ち上げて、これまでに8回開催し活動の検証と今後の制度活用について協議をしているところです。

まず、これまでの活動の検証としては、厚田に移住や定住してくれることはありがたい、活動を通して地域の私達も知らなかったことを教えてくれている、SNSを通じた活動PRはとても良い等、評価する一方で役割が分かりづらい、応募がどんどん少なくなっている、冬の状況を知らずに来ている方もいるのでは、隊員の生活基盤が本人の希望にかなっているか等の課題も挙げられております。

こういったことから、目的目標が明確な募集とし、活動の具体的な動きはどういうものか、冬の不便さ、厳しさを含めて、事前に厚田を紹介してはどうか、そして今年度は何月に募集をかけるということは特に決めないでじっくり検証すべきではという意見から、今年度中の追加募集は見送り、時間をかけて地域が求める協力隊の人材と活動内容の整理をしているところです。

現時点での協議になりますが、活動内容は、今までのような自由に活動するフリーミッション型ではなく、活動終了後の起業や就業などの出口をはっきりさせて、隊員の自立に繋がることをテーマとすることで検討しています。また、着任後に、厚田がこんな地域だと思わなかった、こんな協力隊の活動だと思わなかったというミスマッチが起こらないよう、事前に実際に厚田に来ていただき、地域を見たり知ったり、感じてもらうような「おためし地域おこし協力隊プログラム」というものを厚田区で初めて実施することで今動いております。

これらの詳細は来月以降改めてさせていただきますので、よろしく申し上げます。私からは以上です。

## (3) その他

### 【(厚) 地域おこし協力隊 奥本隊員】

地域おこし協力隊の奥本です。まず私事ですが、先月ついにやっと家が建ちまして、念願の日本海に沈む夕日が見えるところに住むという夢がまず一つ叶いましたことをご報告させていただきます。ただ最近日が沈むのが早く、5時迄支所におりますと既に夕日が沈んでいたり、土日天气が良くなくて、まだ1、2回しか日本海に沈む夕日を楽しめていません。家は薪ストーブなんですけど、ピザを焼いたり、ジャガイモをアルミホイルにくるんで焼いてみたりと楽しんでます。この後厚田の冬を乗り切れるかが次の課題となっております。

それで本題ですけども、今日皆様にLEDランタンというものを見ていただきたくてご用意いたしました。ランタンはろうそくが入った紙風船を夜空に飛ばしてきらめくという、綺麗なものなんですけど、ろうそくだとちょっと危くて落ちた時に火事とか色々事故もあるようで、これはろうそくの代わりにLEDの光で灯すというものです。これを上手く厚田の色んなイベント等で使いたいなと思ってまして、こんな使い方が良いんじゃないかとか、そういうご意見を今後いただきたくて、まずは見ていただきたいと思い今日用意しました。

(全員、ランタンを用意している物置に移動、会場暗転)

このように全然熱くない。よくあるヘリウムガスの風船と同じ仕組みです。色が沢山あって、これが夜空にきらめくと綺麗に見える。紐が30mぐらい上がるような形になります。多くの自治体でやっているイベントではこ

れをそのまま記念に持って帰ってくださいという形をとってるようです。1個がヘリウムガスも入れて2,000円ぐらい。小さいLEDの電球に、電池をくっつけてセロテープで止めてるような感じです。弱点は、ちょっとした風でも結構流れてしまうこと。こういうものがありますので、これを何か上手く利用したいということで、今後アイデアをお聞かせいただければと思います。どうもありがとうございました。

(全員、席に戻る。会場照明点灯)

【渡邊会長】

ありがとうございます。是非アイデアを奥本隊員までお願いします。他に何かありますか。

【(厚)東支所長】

先ほど校長先生(丸山委員)が1回抜けた部分なのですが、厚田学園の敷地内にクマらしきものの足跡が発見されたということで、今、防災無線で地域内に情報を提供しているという状況です。それ以上の情報が今はないので、また動きがあれば報告させていただきますが、そういう状況があったということだけこの場でお知らせをさせていただきます。以上です。

6. その他

【渡邊会長】

委員の皆さん全体を通して何か確認ございませんか。なければ次回の日程について、事務局からお願いいたします。

【(厚)地域振興課 高田課長】

次回の日程は、12月16日木曜日17時00分から厚田総合センターでご提案いたします。

【全委員】

了解。

7. 閉会

【渡邊会長】

委員の皆さん、今回は冬ということもあり17時からスタートということで、1時間早めますのでお間違えの無いようにお願いします。それでは本日はこれで終了いたします。お疲れ様でした。

○次回の日程について

令和3年12月16日(木)17時00分～ 厚田総合センター2階ホール

令和3年2月6日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡辺 教内